

旅の宿

本調子

工	ゆ
工	か
工	た
工	の
尺	き
中	み
尺	は
○	す
中	す
中	き
中	の
中	

七	七
工	五
○	○
五	五
五	五
五	五
工	尺
尺	工
工	工
工	中

中	中
尺	上
○	○
五	五
五	五
五	五
工	尺
尺	工
工	工
工	○

五	五
尺	尺
工	工
工	○
○	中
中	尺
中	中
中	尺
尺	上

○	

一、浴衣のきみは すすきのかんざし
 熱爛とつくりのくび つまんで
 もういっばい いかかがなんて
 みように 色っぽいね

ぼくはぼくで あぐらをかいて
 君のほほと耳は まっかつか
 ああ風流だなんて
 ひとつ俳句でも ひねって